

科目名 (科目番号)	福祉ボランティア論 (時間割参照)	教員名 山本哲也	学科等	理学療法	選択	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			授業形態	講義	オフィスアワー	火2(第一キャンパス・B325)	
授業概要	保健医療サービスに限らず、サービス提供には相応の対価が求められる。しかしながら、保健医療サービスの提供にあたっては、感受性豊かに、相手に寄り添い、共感できる力が必要である。これらは、理学療法士としての専門的スキル以前に求められるものといえる。そこで本講義では、ボランティアの定義・理念といったボランティア活動に関する基礎的知識を学ぶとともに、実際のボランティア活動等の実践例も参考にしながら保健医療専門職に求められるボランティア精神について考察する。						
目的・目標	目的:保健医療専門職に求められるボランティア精神を理解し、自分なりのボランティアとのかかわり方を見つける。 目標:①ボランティア活動を支える意志について理解する②ボランティア活動に携わる人々のそれぞれの思いや組織としての使命(ミッション)について知る③保健医療専門職としてのボランティアとの関わり方を知る。						
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	ボランティア活動とは	到達目標:授業内容等を理解するとともに、ボランティア活動に従事する人の考え方に触れる。 学習内容:『授業計画(シラバス)』を用いて授業内容を説明する。また、ボランティア活動従事者のボランティアに対する思いについて考える。				
	2	ボランティア活動の定義・理念	到達目標:ボランティアの定義、性格等について理解する。 学習内容:ボランティアの定義、性格、ボランティアについて学習する。				
	3	ボランティア活動の歴史	到達目標:ボランティア活動従事者の活動を支えた意志について理解する。 学習内容:ボランティア活動の歴史を通じて、ボランティア活動を支える源泉について考える。				
	4	ボランティア活動の実際(1)	到達目標:地域において、様々なボランティアが活動していることを理解する。 学習内容:土浦市におけるボランティア活動の実際について学習する。				
	5	ボランティア活動の実際(2)	到達目標:ボランティア活動である認知症サポーター養成講座を体験し、活動内容を知る [外部講師(土浦市高齢福祉課等)]。 学習内容:認知症サポーター養成講座を受講し、認知症サポーターに求められることを学ぶ。				
	6	ボランティア活動の実際(3)	到達目標:災害時におけるボランティア活動について知る。 学習内容:災害時におけるボランティア活動の役割、心構え等について学ぶ。				
	7	ボランティア活動の実際(4)	到達目標:海外で活躍するボランティア活動について理解する。 学習内容:NGOや青年海外協力隊等で活躍するボランティア活動の実際について学ぶ。				
	8	ボランティアに対する支援	到達目標:ボランティア活動を支える仕組みについて理解する。 学習内容:ボランティアセンター等ボランティア活動を支える仕組みを学習する。				
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)によって評価します(対面・オンライン共通)。						
教科書	特に指定しません。						
参考図書	必要に応じて適宜指定します。						
教員からのメッセージ	必要に応じて授業の内容を変更することがあります。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。						